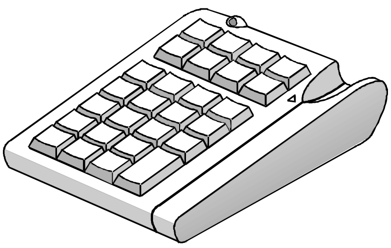
PDC－643
取扱説明書

ＰＤＣ－６４３－ＸＸＸ－Ｖ１（ＫＢ/ＩＦ仕様）
ＰＤＣ－６４３－ＸＸＸ－Ｄ２（ＲＳ２３２Ｃ仕様）



日本システム開発株式会社

はじめに

このたびは、PDC-643(以下本機)をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本機をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

電波障害自主規制について

　この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

もくじ

本書の読みかた

■本書の内容

第一章　お使いになる前に

本機をお使いになる前に確認していただきたいことを説明しています。
（本書の説明は出荷設定を想定して説明しています。）

第二章　本機の取扱い

本機の具体的な取扱い方法について説明しています。

第三章　本機の仕様

本機の仕様やトラブルが起こったときの対処方法を説明しています。

■表記上のお約束

注意　本機を使用する際に注意していただきたいことを説明しています。
メモ　本機を使用する際の補足的なことを説明しています。
ＫＢ/ＩＦ　キーボードインターフェースの略称としています。

第一章　お使いになる前に

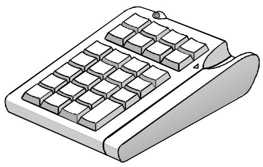
梱包品の確認、本機の特長、使用上の注意事項について説明しています。

１．１ 梱包品の確認

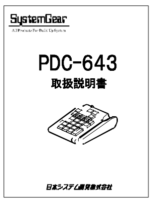
お買い求めになったパッケージには以下のものが梱包されています。お使いになる前に必ずご確認ください。なお梱包には万全を期しておりますが、万一不足品や破損品がありましたらお買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

【共通】（ＫＢ/ＩＦ仕様、ＲＳ２３２Ｃ仕様）

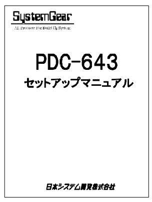
●６４３本体



●本書



●セットアップマニュアル



●タッチスキャナ（オプション）

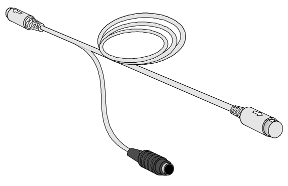
図1-1

本機をお使いになる前に、弊社の保守サービスを受けるためにユーザー登録を行ってください。ユーザー登録は下記ホームページから登録してください。

https://www.systemgear.com/support/regist/web_form.html

【ＫＢ/ＩＦ仕様】

●ＫＢ/ＩＦケーブル

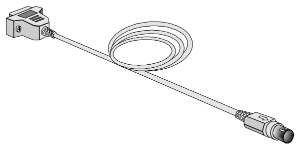


●ＡＣアダプタ（オプション）
　タッチスキャナ接続時には必須です。

図1-2

【ＲＳ２３２Ｃ仕様】

●ＲＳ２３２Ｃケーブル



●ＡＣアダプタ

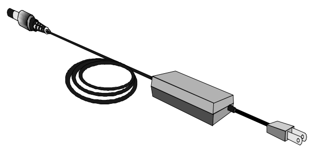


図1-3

１．２ 本機の特長

本機はテンキー入力、磁気カード、バーコードの読取りができるマルチリーダです。
読取ったデータはＫＢ/ＩＦ、またはＲＳ２３２Ｃにてパソコンへ送ることができます。
使用するパソコン環境を変えることなく、本機の使用が可能です。

【共通（ＫＢ/ＩＦ、ＲＳ２３２Ｃ仕様）】

●多種のバーコードの読取りが可能（オプション）

実用に供されているＪＡＮ（ＥＡＮ／ＵＰＣ），ＣＯＤＡＢＡＲ(NW－７),
インターリーブド２ｏｆ５，インダストリアル２ｏｆ５，ＣＯＤＥ３９，
ＣＯＤＥ９３，ＣＯＤＥ１２８，ＥＡＮ-１２８などに対応しています。

●動作状況をブザーとＬＥＤで表示

各種読取りや動作状況をブザーとＬＥＤで確認することができます。

【ＫＢ/ＩＦ仕様】

●特別なソフトウェアは不要です

パソコンへのデータ転送はＫＢ/ＩＦにて送出します。
よって、専用のドライバーソフトや特別なアプリケーションソフトがなくても、ＰＳ/２キーボード接続可能パソコンであれば、接続するだけでご使用いただけます。

! 注意

ＫＢ/ＩＦでのデータ転送では確実にパソコンへデータを転送できたかどうかを本機自身で確認できません。データ転送の最終的な確認は、パソコンの画面等で確認してください。

１．３ 安全上の注意（必ずお守りください）

ご使用になる人やその他の人への危害や財産への損害をあらかじめ防止するため、本機をご使用の前に必ず本項の内容をよくお読みになり、必ずお守りくだささるようお願いします。

お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で説明しています。

⚠危険

この表示の欄は、

「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

⚠警告

この表示の欄は、

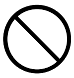
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意

この表示の欄は、

「損害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

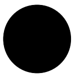
■お守りいただく内容の種類を次の絵区分で説明しています。



この記号は、してはいけない禁止の行為であることを告げるもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれているものがあります。

表示	意　味
	機械を分解すること、カバー類を取り外すことで感電などの傷害が起こる可能性がある場合、分解を禁止するための警告表示。
	特定の条件に於いて、機器の特定の場所に触れることで傷害が起こる可能性がある場合、触れることを禁止するための警告表示。

表1-1



この記号は、行為を強制する内容を告げるもので、図の中に具体的な指示内容が描かれています。

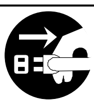
表示	意　味
	特定しないが、一般的な機器の取扱い上で何らかの注意が必要で、人に何らかの危害または、機器に何らかの障害が起こる可能性があることを促す警告表示。文字と併せて使用します。
	故障により、人に何らかの危害または、機器に何らかの障害が起こる可能性がある場合、電源プラグをコンセントから抜くことを促すための警告表示。

表1-2

危険

○本機を分解、改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
○ＡＣアダプタ（オプション）を使用する際は、必ず表示された電源電圧（交流１００Ｖ）を使用してください。他の電源で使用すると、発熱・火災・感電・けがの原因となります。

表1-3

警告

○万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機接続ケーブルをパソコンから抜き、ＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
○万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず本機接続ケーブルをパソコンから抜き、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
○万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず本機接続ケーブルをパソコンから抜き、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
○万一、この機器を落とした場合や、機器のケースを破損した場合は、本機接続ケーブルをパソコンから抜き、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
○ケーブルが傷んだら（芯線の露出，断線など）、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
○ケーブルの上に重いものをのせることや、コードが機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
○ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
○この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流電源には接続しないでください。火災の原因となります。

表1-4

⚠注意

	○本機を油煙や湯気があたるような場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
	○直接日光のあたるところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面など高温の場所に放置しないでください。火災・故障の原因となることがあります。
	○濡れた手でケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	○ケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。故障・破損の原因となることがあります。
	○本機を重ねて設置したり、本機の上に重いものを置いたりしないでください。火災・故障の原因となることがあります。
	○強い振動や衝撃を与えないでください。故障・破損の原因となることがあります。
	○ＡＣアダプタ（オプション）を接続してご使用の場合。 長い期間ご使用にならないときは、安全のため必ずＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。火災、周囲を汚損する原因となることがあります。
	○ＡＣアダプタ（オプション）を接続してご使用の場合。 本機のお手入れの際は、安全のためＡＣアダプターをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
	○小児には使用させないでください。
	○乳幼児の手の届かない所に保管してください。
	○本機のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。塗装を痛めることや故障の原因になることがあります。

表1-5

第二章　本機の取扱い

この章では本機とパソコンの接続方法や磁気カード、バーコードの読ませ方など具体的な取扱い方法について説明しています。

２．１　各部の名前とはたらき

本機各部の名前とはたらきを説明します。

本機名称

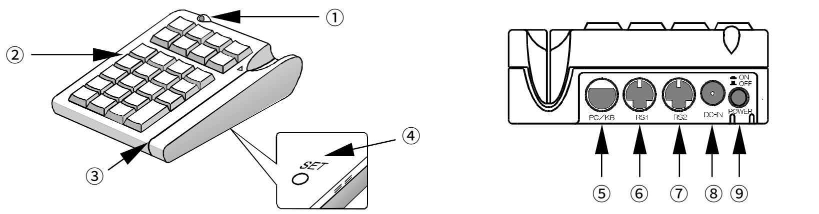


図2-1

<table>
<tr><th>№</th><th>名称</th><th colspan="2">説明</th><th>KB/IF
仕様</th><th>RS232C
仕様</th></tr>
<tr><td>①</td><td>ＬＥＤ</td><td colspan="2">動作状態を示します。
（緑：待機中／黄：処理中／赤：異常）</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>②</td><td>テンキー</td><td colspan="2">テンキー入力を行います。</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>③</td><td>磁気スロット</td><td colspan="2">磁気カードデータを読取ります。</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>④</td><td>セットアップＳＷ(SET)</td><td colspan="2">本機設定を行うためのスイッチです。</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>パソコンコネクタ(PC/KB)</td><td colspan="2">ＫＢ/ＩＦケーブルを接続します。</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑥</td><td rowspan="2">ＲＳコネクタ(RS1)</td><td>KB/IF 仕様</td><td>RS232C 入力ポート</td><td rowspan="2">○※１</td><td rowspan="2">○※１</td></tr>
<tr><td>RS232C 仕様</td><td>RS232C 入力ポート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑦</td><td rowspan="2">ＲＳコネクタ(RS2)</td><td>KB/IF 仕様</td><td>RS232C 入力ポート</td><td rowspan="2">○※２</td><td rowspan="2">○※５</td></tr>
<tr><td>RS232C 仕様</td><td>RS232C 出力ポート</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>ＡＣアダプタ(DC-IN)</td><td colspan="2">本機の電源供給のために使用します。</td><td>○※３</td><td>○</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>電源ＳＷ(POWER)</td><td colspan="2">本機の電源を入れるスイッチです。</td><td>○※４</td><td>○</td></tr>
</table>

表2-1

○　：使用可能です。
×　：使用禁止です。
※１　：ＲＳ１にはタッチスキャナまたは一般ＲＳ２３２Ｃ機器が接続可能です。
※２　：ＲＳ２にはタッチスキャナのみ接続可能です。
※３　：タッチスキャナ接続時のみ必要となります。
※４　：タッチスキャナの電源ＯＮ/ＯＦＦに使用します。
※５　：本機とパソコン間を接続します。

２．２　使用前の準備

各機器間の接続と使用前の準備について説明します。

機器の接続（本機とその他機器）

【ＫＢ/ＩＦ仕様】

本機と接続する機器について説明します。
本機背面に各機器と接続するコネクタがあります。
接続する機器によって図２-２、図２-３、図２-４のように接続してください。

① タッチスキャナのみを接続する場合

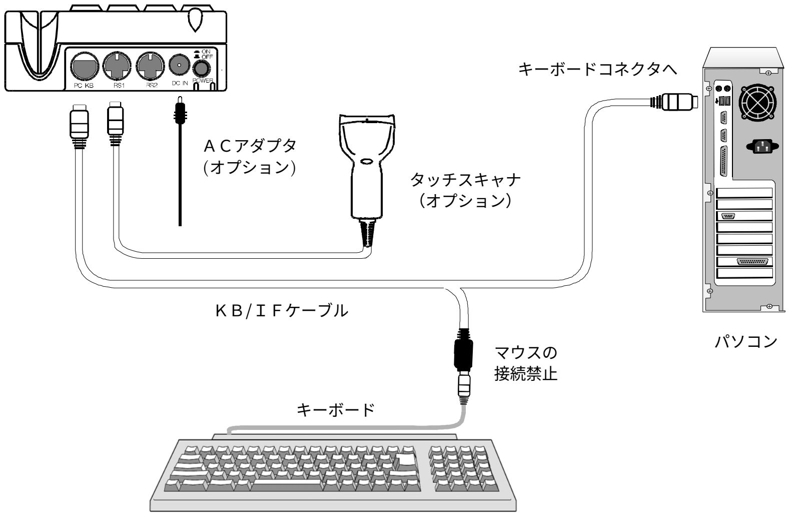


図2-2

注意

●各機器を接続する際は、パソコンを含めて必ず電源を切った状態で行ってください。
●接続時には静電気に気をつけてください。
　あらかじめ手を金属物に触れて静電気を放電してください。
●各ケーブル接続時には、コネクタの向きに注意してください。
●ＫＢ/ＩＦケーブルにマウスを接続しないでください。

② 一般 RS232C 機器のみを接続する場合

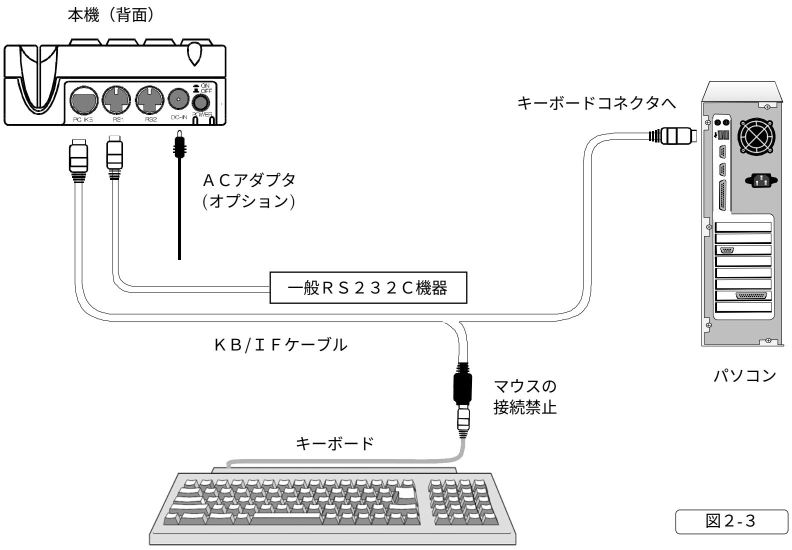


図2-3

注意

- **各機器を接続する際は、パソコンを含めて必ず電源を切った状態で行ってください。**
- **接続時には静電気に気をつけてください。**
  あらかじめ手を金属物に触れて静電気を放電してください。
- **各ケーブル接続時には、コネクタの向きに注意してください。**
- **ＫＢ/ＩＦケーブルにマウスを接続しないでください。**

③ タッチスキャナと一般 RS232C 機器を接続する場合

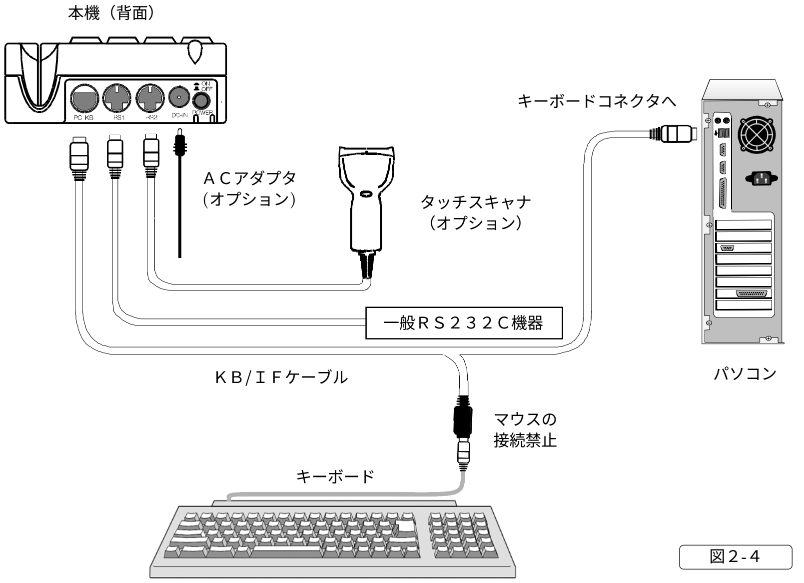


図2-4

注意

●各機器を接続する際は、パソコンを含めて必ず電源を切った状態で行ってください。

●接続時には静電気に気をつけてください。

あらかじめ手を金属物に触れて静電気を放電してください。

●各ケーブル接続時には、コネクタの向きに注意してください。

●ＫＢ/ＩＦケーブルにマウスを接続しないでください。

【ＲＳ２３２Ｃ仕様】

本機と接続する機器について説明します。
本機背面に各機器と接続するコネクタがあります。
接続する機器によって図２-５、図 2-6 のように接続してください。

① タッチスキャナのみを接続する場合

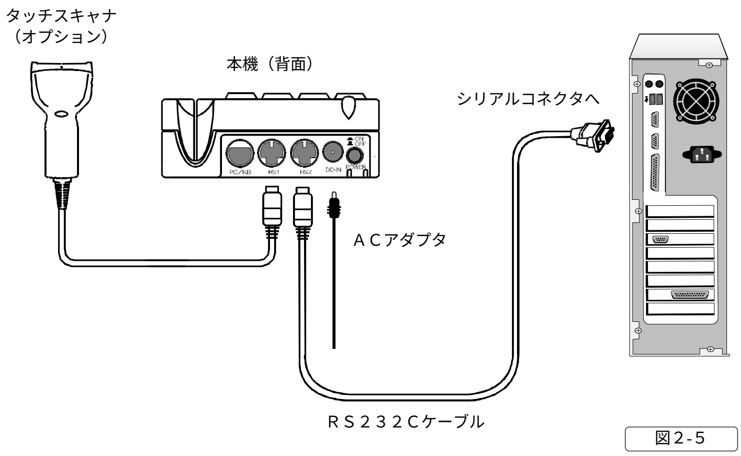


図2-5

注意

●各機器を接続する際は、パソコンを含めて必ず電源を切った状態で行ってください。
●接続時には静電気に気をつけてください。
あらかじめ手を金属物に触れて静電気を放電してください。
●各ケーブル接続時には、コネクタの向きに注意してください。

② 一般 RS232C 機器のみを接続する場合

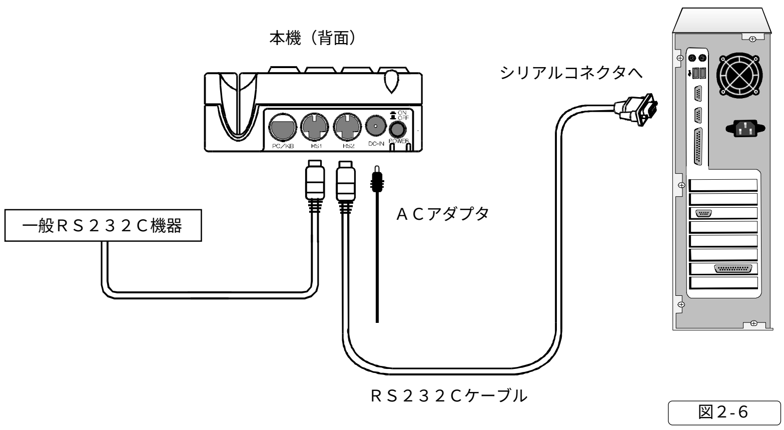


図2-6

注意

●各機器を接続する際は、パソコンを含めて必ず電源を切った状態で行ってください。

●接続時には静電気に気をつけてください。
　あらかじめ手を金属物に触れて静電気を放電してください。

●各ケーブル接続時には、コネクタの向きに注意してください。

２．３　本機の使い方

本機の具体的な使い方を説明します。

本機の起動

本機は仕様によって、電源投入及び、電源供給方法が違います。

■ＫＢ/ＩＦ仕様
パソコンからの電源供給にて動作します。
パソコンと本機をＫＢ/ＩＦケーブルで接続し、パソコンの電源を投入してください。
本機は起動ブザーを鳴動後、ＬＥＤを緑点灯し、入力待機状態になります。

■ＲＳ２３２Ｃ仕様
本機に接続したＡＣアダプタからの電源供給にて動作します。ＡＣアダプタ接続後、ＰＯＷＥＲ　ＳＷをＯＮすることで本機の電源が入ります。
通電すると本機は起動ブザー鳴動後ＬＥＤを緑点灯し、入力待機状態になります。

❗注意

パソコンと本機を接続した際にＬＥＤが点灯しない場合、本機に異常が発生していることがあります。『３．２　困ったときは』を参照して確認を行ってください。

❗注意

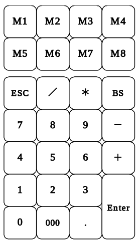
ＫＢ/ＩＦ仕様にてご使用の場合には、必ずパソコンの電源ＯＮ前に本機とパソコンをＫＢ/ＩＦケーブルにて接続してください。
電源投入後に接続した場合は、動作保証できません。

テンキーの入力

通常のテンキー入力を行うことができます。
２キーロールオーバーに対応し、リピート入力も可能です。

■ＫＢ/ＩＦ仕様

テンキーの入力で、以下のキーを出力します。
セットアップにより、TEN KEY コードに変更可能です。



… M1～M8 は 109（106）キーボードの F1～F8 を出力します。

… 演算子（／，＊，－，＋）は TEN KEY コードを出力します。
その他は、全て FULL KEY コードを出力します。
“ ０００ ”キーは、“ ０ ”キーを連続３回出力します。

図2-7

●キーボード（日本語１０９キーボード）

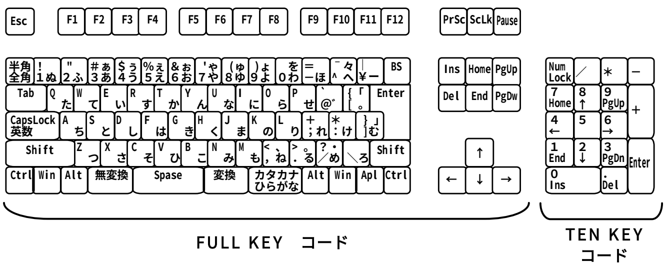
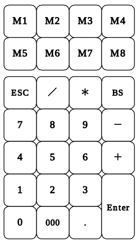


図2-8

■ＲＳ２３２Ｃ仕様

下表（データコード表）をもとにデータ送信します。



… M1～M8 は下表 PF1～PF8（Ｅ０ｈ～Ｅ８ｈ）を出力します。

… 下表参照。
“Ｅｎｔｅｒ”は下表“ＣＲ”（０Ｄｈ）を出力します。
“０００”キーは、“０”（３０ｈ）を連続３回出力します。

図2-9

データコード表

下位４ビット →
上位４ビット ↓

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	HM	CL	CR	SO	SI
1	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
2	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	＊	＋	,	－	.	／
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	＝	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	ˆ	_
6		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	｜	}	～	
8																
9																
A		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
B	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
E	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8								
F																

表2-2

磁気カードの読ませかた

本機は磁気カードの読取りに手動スライド方式を採用しています。
磁気カードを手に持ち、本機カードリーダ部分で適度な速度で手前にスライドさせるとカード内容を読取ります。
カードのスライド方向は本機上部から手前に通してください（下図）。

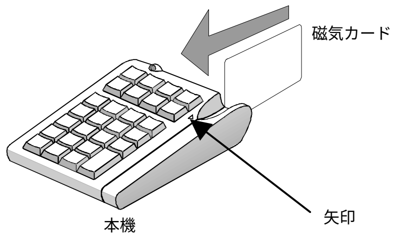


図2-10

●カードスライド方向について

カード表面に磁気ストライプが見えるタイプの場合、磁気ストライプを左にしてスライドさせます（本機磁気スロットの矢印にあわせてカードを通してください）。

メモ

磁気ストライプとはカードに付いている黒、茶色の帯部分を指します。

バーコード（オプション）の読ませかた

バーコードを読ませるときは、スキャナをバーコードに接触させ、読取りスイッチを押してください。連続読取りをさせる場合には、バーコードから一度スキャナを離すか、読取りスイッチの ON/OFF にて、バーコードを読取るようにしてください。



図2-１１

メモ

テンキー入力、磁気カードの読取り操作時及び、前回読取ったバーコードのデータ送信中は、バーコードの読取りは行えません。

ＬＥＤとブザー

本機は、ＬＥＤとブザーによって状態を知らせることができます。

電源	動作状況	ＬＥＤ	ブザー	備考
ＯＦＦ		消灯	なし	
ＯＮ	パソコン電源ＯＮ時	緑点灯	ピー	ＫＢ/ＩＦ仕様時 セットアップでブザー鳴動の切替え可
	ＰＯＷＥＲ ＳＷ ＯＮ時	緑点灯	ピー	ＲＳ２３２Ｃ仕様時 セットアップでブザー鳴動の切替え可
	磁気、バーコード出力中	黄点灯	なし	
	磁気、バーコード送信完了	緑点灯	ピッ	セットアップでブザー鳴動の切替え可
	磁気読取りエラー	赤点灯（約１秒間）	ピッピッピッ	セットアップでブザー鳴動の切替え可
	セットアップ開始時	なし	ピーピッピッ	
	セットアップ中	緑点滅	なし	
	セットアップコード入力	黄点灯（瞬時）	ピッ	
	セットアップコード入力エラー	黄点灯（瞬時）	ピッピッピッ	
	セットアップコード入力キャンセル	黄点灯（瞬時）	ピッピッ	

表2-3

メモ

セットアップについては別紙『セットアップマニュアル』を参照してください。

第三章　本機の仕様

本章は、本機の仕様やトラブルが起こったときの対処方法について説明しています。また、アフターサポートの連絡先も記載しています。本機の仕様を知りたいとき、トラブルで困ったときにお読みください。

３．１　製品仕様

・本体仕様

型　　　　　式	ＰＤＣ－６４３－ＸＸＸ－Ｖ１	ＰＤＣ－６４３－ＸＸＸ－Ｄ２
供　給　電　源	パソコン本体からＤＣ５Ｖ供給	ＡＣアダプタよりＤＣ５Ｖ供給
インターフェース	キーボードインターフェース	ＲＳ２３２Ｃ
動　作　環　境	各社ＤＯＳ/Ｖパソコン	ＲＳ２３２Ｃ通信機器
対　応　Ｏ　Ｓ	Windows XP、 Windows Vista、 Windows 7 (いずれも32ビット日本語版)	
読 取 り 確 認	ブザー（音量 ３段階音量）	
動 作 状 況 表 示	３色ＬＥＤ（緑、赤、黄）	
消　費　電　流	最大１５０mA	
使　用　温　度	０～４０℃	
使　用　湿　度	２５～８５％（但し、非結露）	
外　観　寸　法	１２０（W）×１８０（D）×３９（H）mm （ゴム足などの突起物含まず）	
重　　　　　量	約３７０ｇ（本体のみ）	

表3-1

・テンキー

キ ー 打 鍵 寿 命	１０００万回以上
動　　作　　力	６５ｇ±３０ｇ（シングルキー、キートップ中央押下） ９５ｇ±３０ｇ（ダブルキー、キートップ中央押下）
ス ト ロ ー ク	3.5mm±0.5mm
N キ ー ロ ー ル	2キーロール

表3-2

・磁気リーダ

対応磁気カード	ＪＩＳ Ｘ ６３０１（形状寸法），６３０２（記録様式）に準ずるカード 「JIS X6302 1998 附属書(規定)」 「おもて面磁気ストライプ付き識別カード」に準ずるカード
ヘッド寿命	３０万回パス（塵埃の少ない室内使用時）
走査速度	１０〜１２０cm／sec
カード走行	スライドマニュアル操作
記録再生	再生のみ
記録方式	Ｆ２Ｆ
記録密度	２１０ＢＰＩ

表3-3

・タッチスキャナ（オプション）

読取りコード	JAN／EAN／UPC、CODABAR(NW-7)、インターリーブド２of５、 インダストリアル２of５、CODE39、CODE93、CODE128、EAN-128
読取り方式	ＣＣＤタッチスキャナ方式
最小分解能	０．１２５mm以上
ＰＣＳ値	０．４５以上（白バー反射率８５%以上時）
読取り幅	６５mm（両端マージン含む）

表3-4

３．２　困ったときは

○パソコンが本機を KB/ＩＦ機器として認識しない。 （パソコンでキーボードエラーが発生する）
→　KB/ＩＦケーブルが正しく接続されていますか？ →　パソコンと本機が正しく接続されていますか？

○テンキーを押してもパソコンにデータが出力されない。
→　テンキーを押した際、本機ＬＥＤが緑点灯になっていますか？ 磁気カード、バーコードのデータを出力中はテンキーの入力は行えません。 →　３キーを同時に押していませんか？ 本機仕様は２キーロール対応です。３キー目以降は無視しています。

○磁気カードを通してもパソコンにデータが出力されない。 （読取りエラーでＬＥＤが赤点灯し、エラーブザーが鳴動する）
→　磁気ストライプ部分に傷がついていませんか？ →　磁気カードを通す際、本機ＬＥＤが緑点灯になっていますか？ テンキーが押されている場合や、その他データを出力中は磁気カードの読取りは 行えません。

○バーコードが読めない。
→　本機が対応しているバーコードか確認してください（仕様を確認してください）。 →　バーコードの印刷が薄くないですか？ また、汚れていませんか？ →　バーコードを読取らせる際、本機ＬＥＤが緑点灯になっていますか？ テンキーが押されている場合や、その他データを出力中はバーコードの読取りは 行えません。

○パソコンに表示される文字が化ける、欠ける
→　本機の伝送時間調整設定（文字間ディレイ）を遅くしてみてください。 （別紙『セットアップマニュアル』を参照願います。）

○パソコンに表示される大文字が小文字に、小文字が大文字に変わる。
→　本機の伝送時間調整設定（文字間ディレイ）を遅くしてみてください。 （別紙『セットアップマニュアル』を参照願います。）

お問い合わせ

日本システム開発株式会社

技術的なお問い合わせは
　サポートサイト　**http://www.systemgear.co.jp/support/**

最新情報はインターネットをご覧ください
　http://www.systemgear.com

付　サンプルバーコード

0 123456789 9 8　　ＵＰＣ－Ａ

0 123456 5　　ＵＰＣ－Ｅ

4 901234 567894　　ＥＡＮ／ＪＡＮ－１３

4901 2347　　ＥＡＮ／ＪＡＮ－８

0 1 2 3 4 5　　インターリーブド ２ｏｆ５

0 1 2 3 4 5

インダストリアル ２ｏｆ５

a 0 1 2 3 4 5 a

CODABAR（NW－7）

* 0 1 2 3 4 5 *

CODE39

C O D E - 9 3

CODE93

C O D E - 1 2 8

CODE128

E A N - 1 2 8

EAN－128

保　証　書（兼 修理依頼票）

本紙はコピーまたは、切り離してお使いください

保証期間は、弊社出荷日より１年です。保証又は修理を依頼されるときは、できるだけ詳しくご記入の上、製品といっしょに送付してください。

宛　先

〒665-0045　兵庫県宝塚市光明町３０－１２
TEL 0797-74-3575 FAX 0797-74-2212

株式会社システムギアダイレクト 行

ご依頼主

会社名：

お名前：　　　　　　　　　　部署：

ご住所：〒

ＴＥＬ：（　　　　）　　　－　　　　　　［内線　　　　］

ＦＡＸ：（　　　　）　　　－

製品情報	製品名	PDC-643	シリアル№	
		本体裏側の号機シールに記載のシリアル№を転記してください。		
	購入日	年　　月　　日（必ずご記入して下さい）		
	設定状態			
	添付品			
使用環境	ＯＳ	□Windows（　　　　） □その他（　　　　）		
	ソフト	□製品名（　　　　） □製作言語（　　　　） □その他（　　　　）		
	添付品	□通信ケーブル（　　本）　□メディア（ＦＤ／ＣＤ） □磁気カード　（　　枚）　□その他（　　　　）		
症　状		□ある日突然　□環境変更後　□常時　□頻繁　□ときどき（　　回／　　回）		
修理有料時の見積り		□必要（　　　　円以上のとき）　□見積不要ですぐに修理 □修理不要		

保　証　規　定

　この規定は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。

１．　この製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。

２．　取扱説明書に従って正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合はお買上げの販売店または、保証書に記載の送り先まで修理品と共にお送りください。無償修理させていただきます。

３．　保証範囲は本体および付属機器に限らせていただきます（ケーブルは、保証範囲外となります）。

４．　保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

(1)　保証書にご購入日の記載がない場合
(2)　お客様による輸送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合
(3)　火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合
(4)　本製品に異常がなく、他の機器に起因して本製品に故障が生じた場合
(5)　当社以外で修理、調整、改造され、それが原因となり故障した場合
(6)　お客様側の希望により、ソフトウェア（ＲＯＭ）をバージョンアップする場合

５．　この規定は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

おことわり

●本書の一部あるいは全部を無断で転載することは固くお断りします。
●本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
●本書記載製品の販売・生産・保守について、予告・通知なく中止する事があります。
詳しくは、下記弊社ホームページをご覧ください。
http://www.systemgear.co.jp/support/stop/index.html
●製品の仕様、規格及び外観は、改良の為、予告なく変更する事があります。
●印刷の関係上、本取扱説明書に使用した写真及び画面は、色や細部等が実際と異なる場合がありますのでご了承ください。
●保守対応期間は、弊社販売中止から基本５年間ですが、諸事情により異なる場合があります。
●弊社の保守サービスを受けるには、ユーザー登録が必要です。
●ユーザー登録は、弊社のホームページから登録してください。
https://www.systemgear.com/support/regist/web_form.html
●本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
●本機の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求に付きましては、上記の理由にかかわらずいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
●Windows は米国法人 Microsoft Corp.の登録商標です。

ＰＤＣ－６４３ 取扱説明書

(PDC－643－XXX－V1：ＫＢ/ＩＦ仕様)
(PDC－643－XXX－D2：ＲＳ２３２Ｃ仕様)

２００１年 １１月　初版発行
２０１０年　 7月　８版発行

発行　日本システム開発株式会社

〒665-0045　兵庫県宝塚市光明町３０番１２号
TEL　0797-74-2205　　FAX　0797-74-2212

(BK0015A01-8)